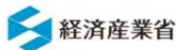


基調講演

演題：「新産業構造ビジョン」～第4次産業革命をリードする日本の戦略～
 講演者：経済産業省経済産業政策局産業再生課 課長補佐 今里 和之



★ 2つのシナリオ (①現状放置シナリオ ②変革シナリオ)
 安定したジリ貧 or 痛みを伴う転換 ⇒ 転換するならばスピード勝負

1. 今、何が起きているのか？

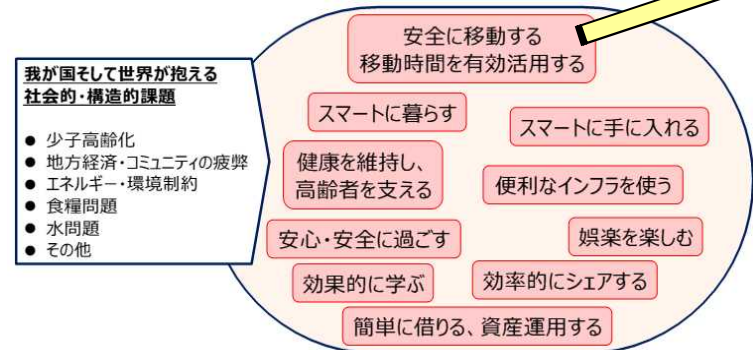
○ 技術のブレークスルー [IoT,ビッグデータ,人工知能(AI),ロボット]
 ⇒ これまで実現不可能とされていた社会の実現が可能に
産業構造や就業構造が劇的に変わる可能性【第4次産業革命】

2. 我が国の基本戦略

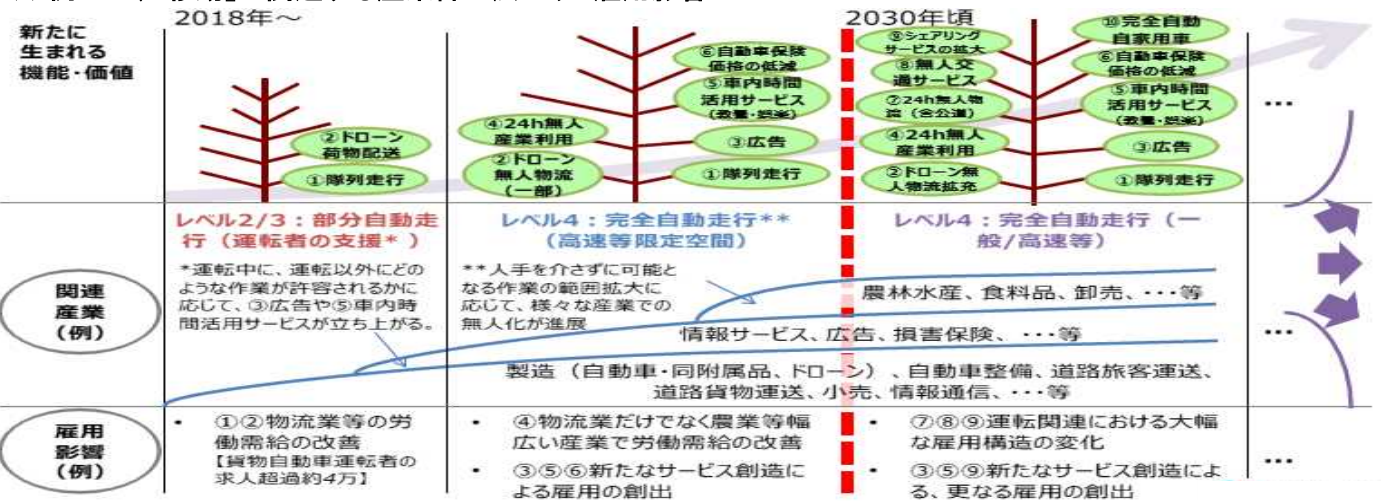
- ① データ利活用促進に向けた環境整備
- ② 人材育成・獲得、雇用システムの柔軟性向上
- ③ イノベーション・技術開発の加速化(Society5.0)
- ④ ファイナンス機能の強化
- ⑤ 産業構造・就業構造転換の円滑化
- ⑥ 第4次産業革命の中小企業、地域経済への波及
- ⑦ 第4次産業革命に向けた経済社会システムの高度化

3. 第4次産業革命による社会の変革と産業構造の転換

○ 第4次産業革命によって実現される社会ニーズ

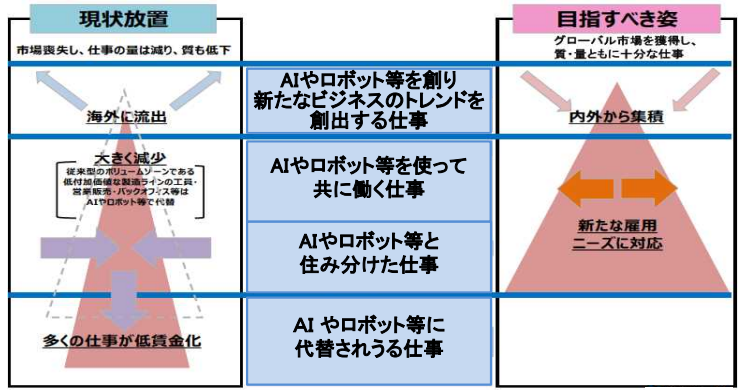


★ 例えば、「移動」に関連する産業群の広がり雇用影響



4. 第4次産業革命による就業構造転換

○ 第4次産業革命による就業構造変革の姿(イメージ)



5. 産業構造・就業構造の試算

○ 試算結果の概要 [2015～2030年度(年率)]

	現状放置シナリオ	変革シナリオ
➤ 実質GDP成長率	+0.8%	+2.0%
➤ 名目GDP成長率	+1.4%	+3.5%
➤ 賃金上昇率	+2.2%	+3.7%
➤ 名目GDP (2020年度)	547兆円	592兆円(※)
➤ 名目GDP (2030年度)	624兆円	846兆円

(※)うち第4次産業革命による付加価値創出額 30兆円

6. 我が国の具体的戦略

- ・強みを活かせる分野でグローバルにデータプラットフォーム構築を推進
- ・初等中等教育におけるプログラミング教育の必修化
- ・今後10年間で企業から大学・研究開発法人への投資を3倍に増やす
- ・多様な経済主体によるエクイティ供給の充実
- ・多様な企業ニーズに対応し、迅速かつ柔軟な事業ポートフォリオ入れ替え可能な制度・環境整備
- ・中小企業によるIT投資対象を、収益そのものを生み出す事業活動へ拡大する動きを促進
- ・長期的な「将来像」の共有、中期的な期限を定めて具体的達成目標の設定、ロードマップ作り、短期の施策を実行していくメカニズム構築 など

意見交換(主な意見)

- ・経営層のITスキルが日本は欧米に比べてまだまだ劣っている。仕事のやり方を変えないとIoTやAIの流れについていけない。
- ・雇用や様々なものに本質的な影響を及ぼすことについては、社会のコンセンサスや国民的な理解をどう得ていくかということが非常に重要。
- ・中小企業や北陸に多い伝統産業などがこうした急激な動きに一樣についていくことができるのか。雇用を守るということも十分考えていく必要がある。
- ・第4次産業革命で付加価値が拡大していったときに、配分をどうしていくか。成長へのエネルギーを阻害しない形で、どう配分のルールづくりをしていくべきなのかが重要。
- ・あまりにも情報が膨大で、コミュニケーションが取れない社会、人と人が目と目を合わせて会話をするという大事なことを忘れるような日本になったら怖い。
- ・地域とどのような関係でビッグデータ、IoT等を理解していくかが非常に重要。どういう社会になるのだというものが無いと心配。